

公的職業訓練の愛称・キャッチフレーズの選定について

公的職業訓練とは

公共職業訓練と求職者支援訓練の総称。

求職者が就職に必要な職業スキルや知識を習得するために、無料で受けられる訓練（離職者訓練）。

その他、在職者向け訓練、学卒者向けの訓練のほか、障害をお持ちの方を対象とした訓練も実施。

職業訓練のイメージ

訓練受講によって
高い就職率を実現し、
一億総活躍を下支え！

時代のニーズに即したコースも
創設し、国民の働くニーズに対応

年間約30万人が訓練を受講

働こうとする方、働く方全てが対象

日本の労働力人口は**6600万人**！

- ・失業された方
- ・働きたいのに、キャリアが少ない方（シングルマザー、ニート、ひきこもりなど）
- ・障害者
- ・学卒者
- ・スキルアップを目指す在職技術者

多種多様な訓練分野を網羅

〔離職者訓練における主な分野別の就職数〕

- ・建設・製造系 (13,475人)
- ・IT系 (15,718人)
- ・事務系 (29,757人)
- ・サービス系 (10,967人)
- ・介護系 (19,582人) (括弧内は平成26年度の就職者数)
- ・デザイン (1,422人)
- ・理容・美容系 (1,206人)

※この他、学卒者(7,950人)、障害者(3,387人)、
在職者受講者102,887人

訓練コース(一部)

- ・金属加工、電気工事、住宅リフォーム
 - ・OAシステム開発、Web設計
 - ・ビジネス経理、医療事務
 - ・調理、ホテル・レストランサービス
 - ・介護サービス、福祉用具
 - ・パソコングラフィック、DTP
 - ・ファッションリテール、和装技術
- ※ 第一種電気工事士、宅地建物取引主任者、
介護職員初任者研修等の資格を取得可能！

課題

◇ 多様な分野の訓練コースを設定するなど、時代のニーズに合わせた内容としているものの、その内容や効果を十分に理解いただけていない。

○ 国民一般における認知度

→ 厚生労働行政モニターで求職者支援制度の名称及び内容を知らない者が7割弱

○ 「訓練」に対する世間のイメージ

→「厳しい」「辛い」など

今回の取組み

「愛称」「キャッチフレーズ」を公募のうえ選定。
選定した「愛称」「キャッチフレーズ」を使用し、公的職業訓練が、全ての働こうとする方、働いている方にとってキャリアアップや希望する就職を実現するためのツールであることを周知。

公的職業訓練の活用を図り「一億総活躍社会の実現」「働き方改革」を推進。